



タブレット、スマホの紛失・盗難に備えましょう！

セキュリティを考えずに、タブレットやスマホを使っていると知らぬ間にトラブルを招く可能性があります。普段お使いのタブレット、スマホですが、万が一、紛失したり盗難にあたりする可能性があります。そのため、タブレットやスマホでもパソコンと同じくらいにセキュリティ対策が必要です。実際に何から手をつければいいのか分からない場合、次の対策を講じてみてください。



複雑なパスワードを入力しないと起動しないようにする。

(安易に推測できるものではなく、自分にしかわからないものを設定しましょう。)



個人情報が入力されたファイルを本体内部に保存しない。

(クラウドのファイルサーバーを利用しましょう。)



タブレット、PCは持ち歩かない。車の中に置いたままにしない。



1. 最新のOSとアプリを使う

脆弱性への対策は、端末上のOSやアプリを常に最新のものにすることで行なえます。これは、サポート期間中は追加費用なしですぐにできる効果的なセキュリティ対策です。自動更新を有効にすれば、アプリを常に最新の状態に保てます。※高額なパケット通信料の発生を避けるため、Wi-Fi接続時のみアプリを自動更新する設定にしておくことをおすすめします。



2. 端末のデータをバックアップする

端末が盗難、紛失、破損したりしても、中に入っている写真やメールなどの重要なデータをバックアップしておけば、被害は最小限ですみます。

※大東文化大学では、学生、教員の皆さんに「Googleドライブ」を容量無制限でご利用いただけます。クラウド上に大切なデータを保存できますので、ぜひご利用ください。



3. 「端末を探す」機能を有効にする

スマホにはGPSなどを使った位置情報提供機能があります。端末の位置情報をオンにしておくことで、紛失しても見つけたり、遠隔ロックやデータ消去を行ったりすることができます。アプリ利用時に位置情報へのアクセスを要求された場合には、説明をよく読んで必要な場合のみ許可するようにしましょう。



4. 公衆Wi-Fiを選んで利用する

公衆Wi-Fiの中には、セキュリティを重視していないものがあり、情報を盗まれたり不正サイトに誘導されたりする危険性があります。携帯電話事業者などが提供する安全性の確保されたWi-Fiを優先して利用しましょう。

※公衆Wi-Fiを一時的に使用する場合は、以下の点に注意しましょう。①公衆Wi-Fiの基本情報 ②利用後には設定を削除する。③セキュリティアプリやVPNアプリを利用する。



5. SNSプライバシー設定を行う

情報の公開範囲を設定せずにSNSやチャットを使っていると、意図しない相手や見ず知らずの人にもプライベートな情報を明かしてしまうことがあります。適切なプライバシー設定を行きましょう。

※SNS各社の公式サポートページを参照し、それぞれのツールでどのようなセキュリティ、プライバシーに関する機能が用意されているかを確認、設定しましょう。



6. 画面ロック機能を設定する

盗難、紛失時、第三者に端末内のデータを見られることを防ぐためにも、一定時間触れずにいると画面を自動的にロックしてくれる機能を有効にしておきましょう。画面ロックの解除には、パスワードや暗証番号などを入力します。

※ロック解除のための情報は、第三者に推測されにくいものでなければ効果を発揮しません。規則的な数字や自分の生年月日など、分かり易いものは避けましょう。

もし、盗難にあってしまったら・・・



- Google DriveやDrop Boxなどのクラウドのファイルサーバーを利用している場合は、パスワードを変更しましょう。
- Amazonや楽天などのネット通販サイト、ネットバンク、本学のDBポータルも含めてパスワードを変更しましょう。
- サイトの場合、パスワードをブラウザが記憶している場合があるので、パスワードを変更しましょう。
- 学園・大学の資産の場合は、速やかに関連部署に相談・報告してください。

